

第4章 科学技術振興の基本方向

第3章の重視すべき3つの科学技術振興の視点に配慮しながら、基本目標を実現するために、以下を基本として推進方策を具体的に進めていきます。

1 科学技術を担う人づくり

将来の科学技術の担い手となる子どもや青少年の科学技術に対する興味・関心を高めるとともに理科教育や産業教育等の充実に努め、研修などにより担い手を育てる指導者の資質・能力の向上を図るほか、県民の科学技術に対する理解を促進します。また、産学官の連携を進めて県内への優秀な人材の定着を目指すとともに、研究や開発に携わる人材のみならず、それを支援する人材についても、地域に埋もれている人材の活用を含めた育成・確保を図るなど、現在と将来の本県の科学技術を担う人づくりを進めます。



<子どもに海の環境や生き物に興味を持たせる乗船体験学習>

2 科学技術振興の基盤づくり

地域の科学技術活動の拠点となる県試験研究機関の機能強化や大学等の高等教育機関の地域との連携強化を図るとともに、企業等の研究・技術開発の支援に取り組みます。また、大学発のベンチャー企業の創出を促進し、新産業づくりに加え既存産業の活性化や更なる展開につなげます。さらに、組織の枠組みを超えたオープンイノベーションの推進や質の高い知的財産の創造・保護・活用、高度情報通信基盤の充実などを通じ、研究・技術開発の活性化が期待できる基盤づくりを進めます。

3 科学技術のネットワークづくり

産学官のそれぞれの特性を生かして効率的・効果的に科学技術の振興を図るため、コーディネート機能の強化や技術移転に対する支援、データベースを活用した効果的な情報発信などを通じて、民間・高等教育機関・自治体相互の連携・交流活動の活性化を図るとともに、広く県内外の研究機関等との交流を促進して、科学技術活動を支える人と情報の重層的なネットワークづくりを進めます。